

# I. 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 29 年 1 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 28 年 10 月～12 月期の実績および平成 29 年 1 月～3 月期の見通しについて調査した。

## 2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

## 3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	18 社	60.0%
水産業部会	30 社	19 社	63.3%
機械工業部会	30 社	9 社	30.0%
建設業部会	30 社	18 社	60.0%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	19 社	63.3%
合 計	150 社	83 件	55.3%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

## Ⅱ. 概 況

－業況は僅かに回復。次期は横ばいの見通し－

### 1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成28年10月～12月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比で▲33.8**と前回調査時の▲39.8より**僅かに6ポイントの回復**となりました。前回調査時の見通しは▲34.9だったことから、ほぼ見通し通りに推移した事がうかがえます。

部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前年DI値5.9→今期▲38.9]、水産業[前年DI値▲46.7→今期▲31.6]、機械工業[前年DI値▲33.3→今期▲22.2]、建設業[前年DI値▲11.8→今期▲38.9]、観光・サービス・諸業[前年DI値▲20.0→今期▲31.6]となりました。

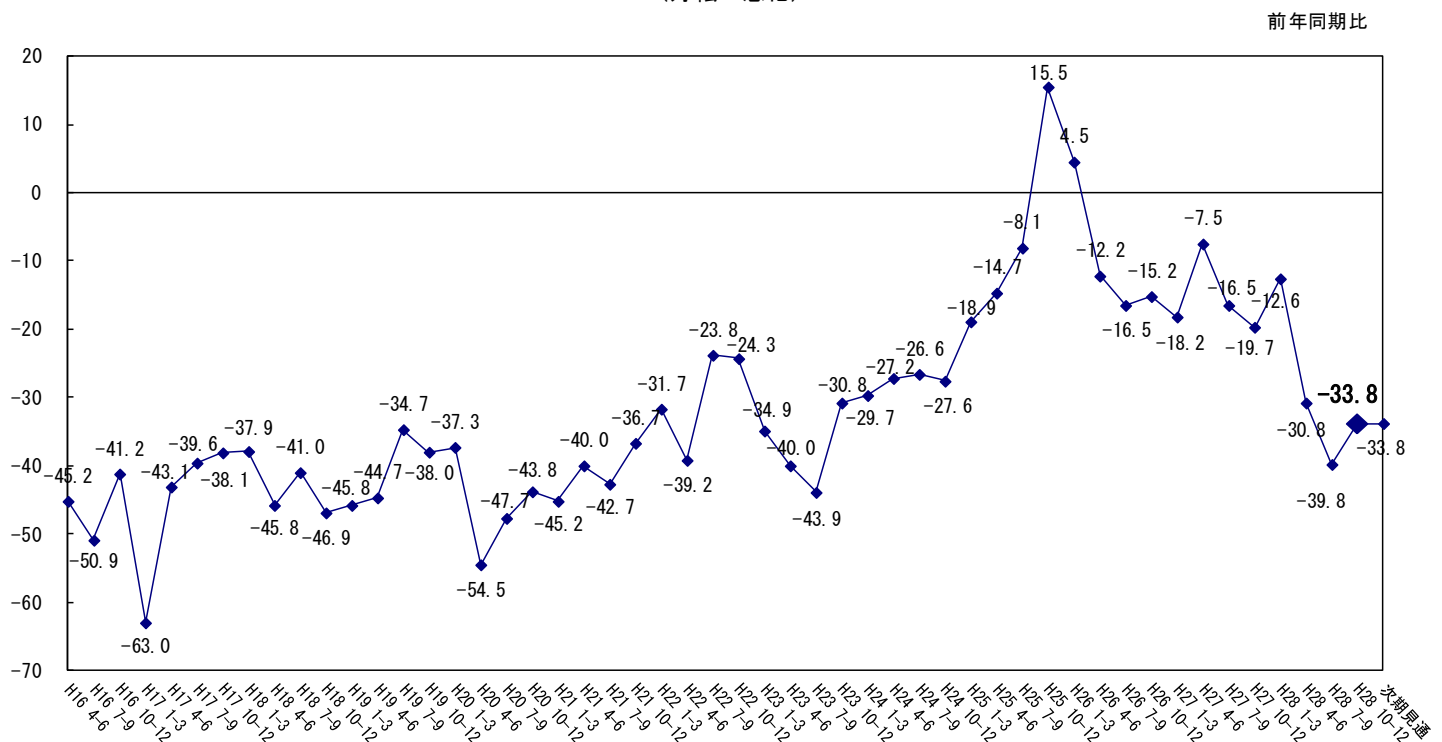
今回の調査で唯一、前年に比べ回復したのは水産業と機械工業で、主力となるにカニの輸入が増加したことによる取扱業者の業況回復によるものと思われます。機械工業は、修理や整備といった作業が減少し、低推移ではあるものの、例年であれば年明けの作業が早い降雪により前倒しになった事による回復となっております。一方で、最も大幅な悪化となったのは商業・食品業ではありますが、「もんべつ地域活性化商品券」最終使用期限であった時期との比較によるものと思われます。

**次期(平成29年1月～3月)**については、全体では今期と同様、**業況判断DIが横ばい(次期見通し▲33.8)**の予測となっており、全体的に不安材料はあるものの、冬の観光シーズンの到来により活発化する観光サービス業と、その動きに伴い牽引される商業食品業の動きに加え、建設業も今期で遅れていた作業の終了や除排雪等により業況がやや回復する見通しとなっております。一方で、水産業は休漁期に入り、DI値▲63.2と大きな悪化の値を示しており、依然として厳しい見方が続いております。

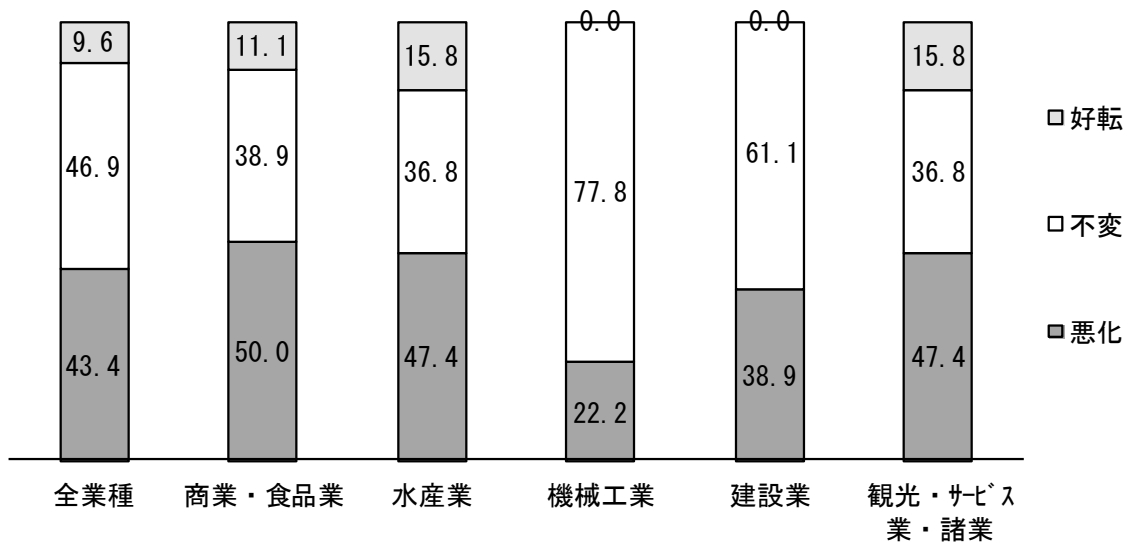
当所では、これから始まる個人事業主の決算指導や確定申告での各業種の決算内容と合わせて状況を把握しつつ、経営相談等対応していききたいと思います。

### 紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)



### 今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「材料等の仕入単価の上昇」「需要の停滞」「従業員・熟練従業員の確保難」を訴える声が多く寄せられております。

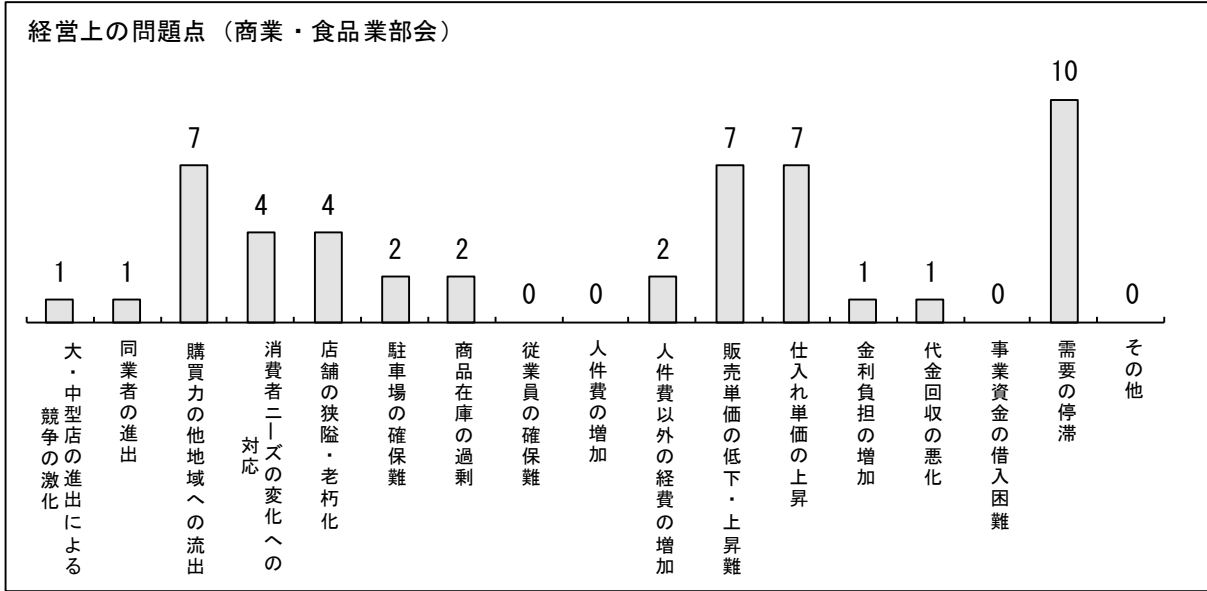
#### ■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲38.9（前年DI値5.9、来期見通し▲27.8）〕

業況DI値（前年同期比）は、前年同期と比べ44.8ポイントの大幅な悪化となりました。平成27年度に実施した「もんべつ地域活性化商品券」の効果で需要が伸びていた昨年度からの比較のため、大きなマイナスになったものと思われます。また、スマートフォンの普及に伴ってより身近になっているネット通販等への購買力の流出が需要の停滞を招き、大きな悪化となっています。次期見通しはやや回復する予想となっております。経営上の問題点としては「需要の停滞」を訴える声が多くなっております。

#### 《業界の問題点等》

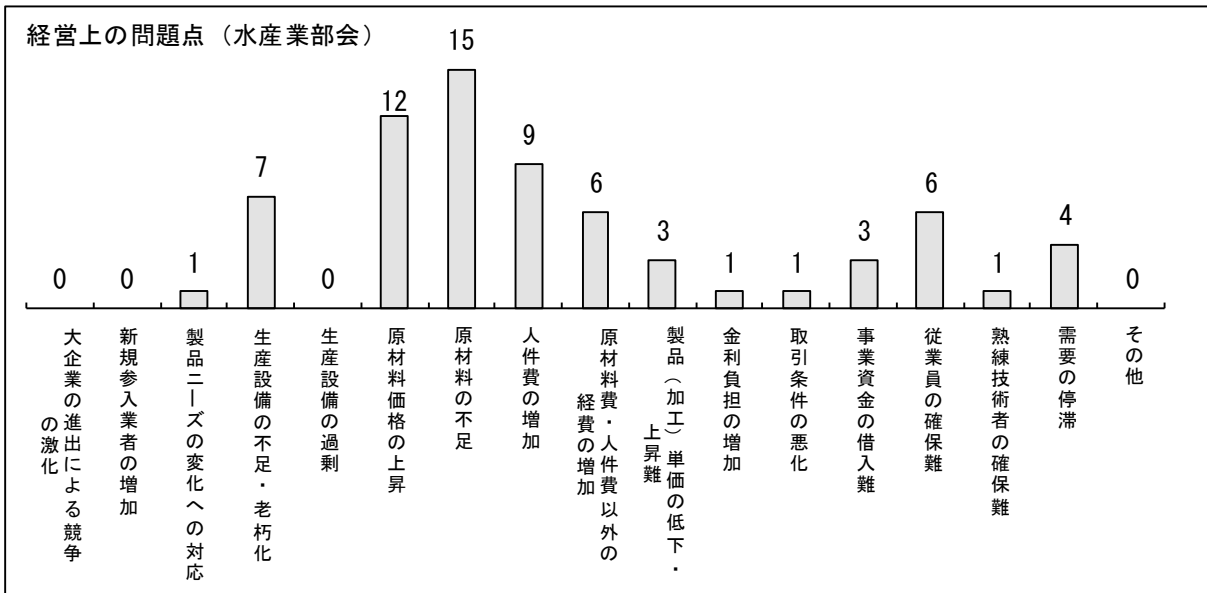
- ・客数減（小売）
- ・不足業種（靴、和服、下着等）があり、お客様が買廻りできない。→街に人が来ない→店が少なくなり、閉店時間も早くなる。（衣料品小売）
- ・消費者・従業員共に高齢化に不安（小売）
- ・冬の間の除雪困難。労働力の不足。（食料品小売）



【水産業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲31.6（前年 DI 値▲46.7、来期見通し▲63.2）〕

業況判断 DI 値（前年同期比）は 15.1 ポイントの改善となりました。サケ、マスをはじめとした様々な魚種で漁獲量が減少したことに加え、10 月でホタテの操業が早々と終了するなど、依然として原料不足が深刻化しております。しかしながら、カニ加工業者には待望のカニの輸入があったことから、若干回復に転じたものと思われます。次期の見通しは休漁期にも入ることから、31.6 ポイントもの悪化と、厳しい見方となっております。経営上の問題点としては「原材料の不足」「原材料価格の上昇」を訴える声が多くなっております。

《業界の問題点等》

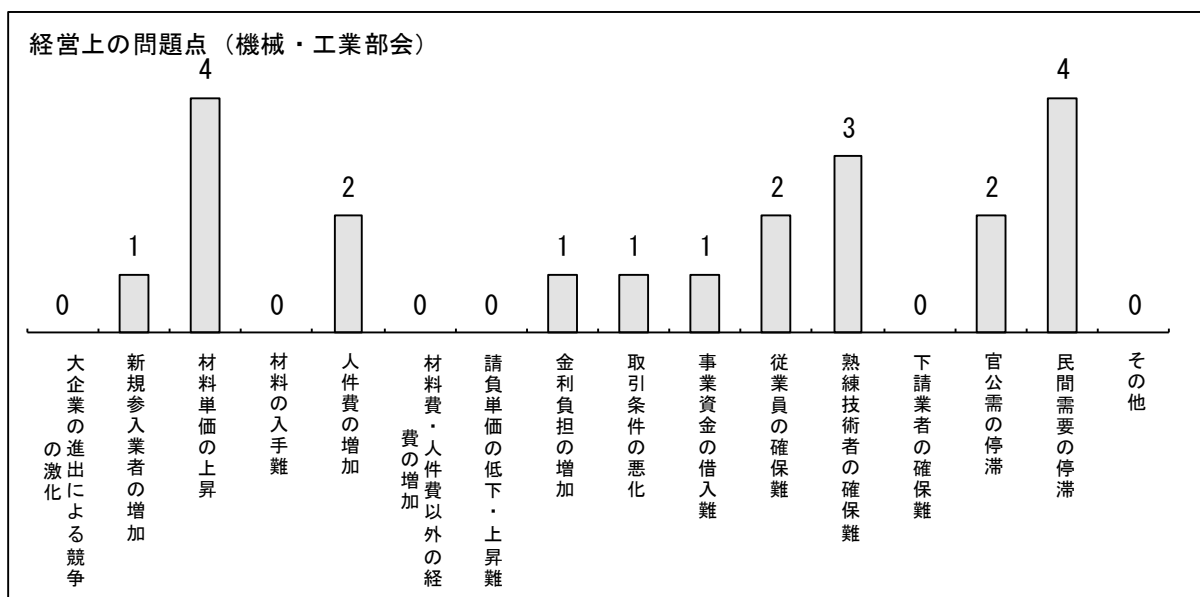


【機械工業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲22.2（前年 DI 値▲33.3、来期見通し▲44.4）〕

業況判断 DI 値（前年同期比）は、11.1 ポイント回復となりました。水産業や建設業の業況悪化も影響し、整備や設備導入に係る需要が落ち込んでいることが大きく影響しているとの声も寄せられております。来期業況見通しは今期から 22.2 ポイント悪化する見通しとなっております。これまで 2~3 ヶ月に一度のサイクルで行われていた機械の整備が半年程度空く等、需要が停滞していることや、中古車販売の不振による自動車の整備も減少しております。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」「民間需要の停滞」を訴える声が多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・客先の原料不足による消費停滞（鉄工業）
- ・例年より早い降雪で仕事が前倒しになっただけで、増えてはいない。（除雪機販売、修理件数等）年明けの天候も落ち着いているので、修理件数も減少。（機械修理）

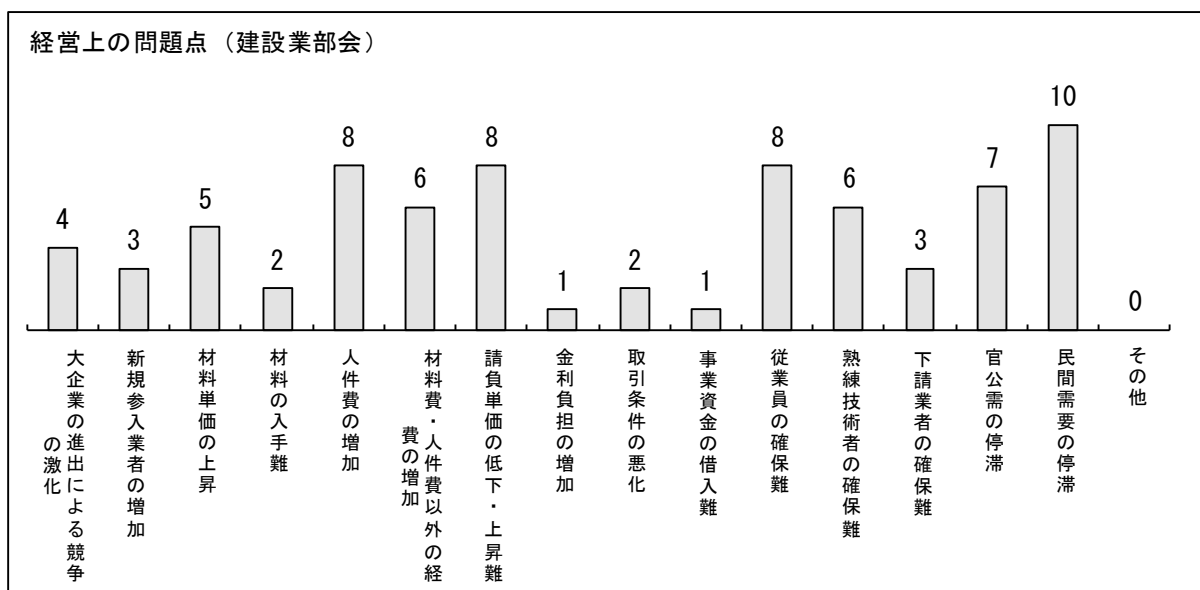


【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲38.9（前年DI値▲11.8、来期見通し▲27.8）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前年比27.1ポイントの悪化となりました。早い降雪による建築作業の遅れが発生し、資金繰りに影響が出ている他、公共工事、住宅建築はあるものの、市外業者の進出が目立ち、市内業者の下請や孫請けにまで仕事がなかなか回って来ない状況にあるとの声も寄せられています。次期はDI値が▲27.8とやや回復の見通しとなっておりますが、除排雪作業は年明けから減少しているため、少な過ぎる雪にも心配の声が聞かれています。経営上の問題点としては「民間需要の停滞」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・大手住宅メーカーで家を建てる人が多い。地元の下請に仕事が来ない。（内装業）
- ・早い降雪のため現場の遅れ！その為の資金の遅れ！（大きい現場は）3月～4月末の集金になる。（機械設備業）

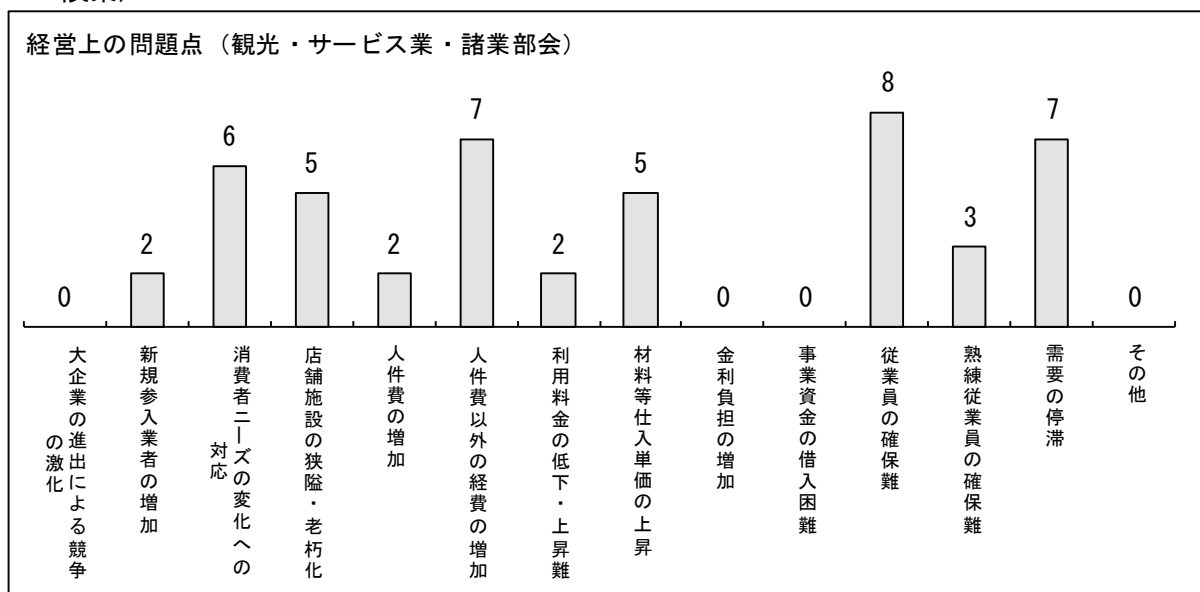


【観光・サービス業・諸業部会】 [業況判断DI値（前年同期比）▲31.6（前年DI値▲20.0、来期見通し▲10.5）]

業況判断DI値（前年同期比）は前年よりも11.6ポイントの悪化となりました。例年、年末には漁業関係者による忘年会等の予約が入るが、今年は中止するところが多く、飲食店関係にも水産業の不振による業況悪化の影響が出ているとのことです。また、高齢化による人口減少が進むにつれ、生活関連のサービス業も客数の減少が徐々に色濃くなっておりま。来期は本格的な冬の観光シーズンとなることから、21.1ポイント回復する見通しとなっています。今年例年よりも流水の到来が早く、週末にはガリンコ号も満席になる便が多くなっていることから、観光客等の入り込み増加を期待していきたいところです。経営上の問題点としては、依然として「従業員の確保難」「需要の停滞」「人件費以外の経費の増加」の声が多くなっておりま。

《業界の問題点等》

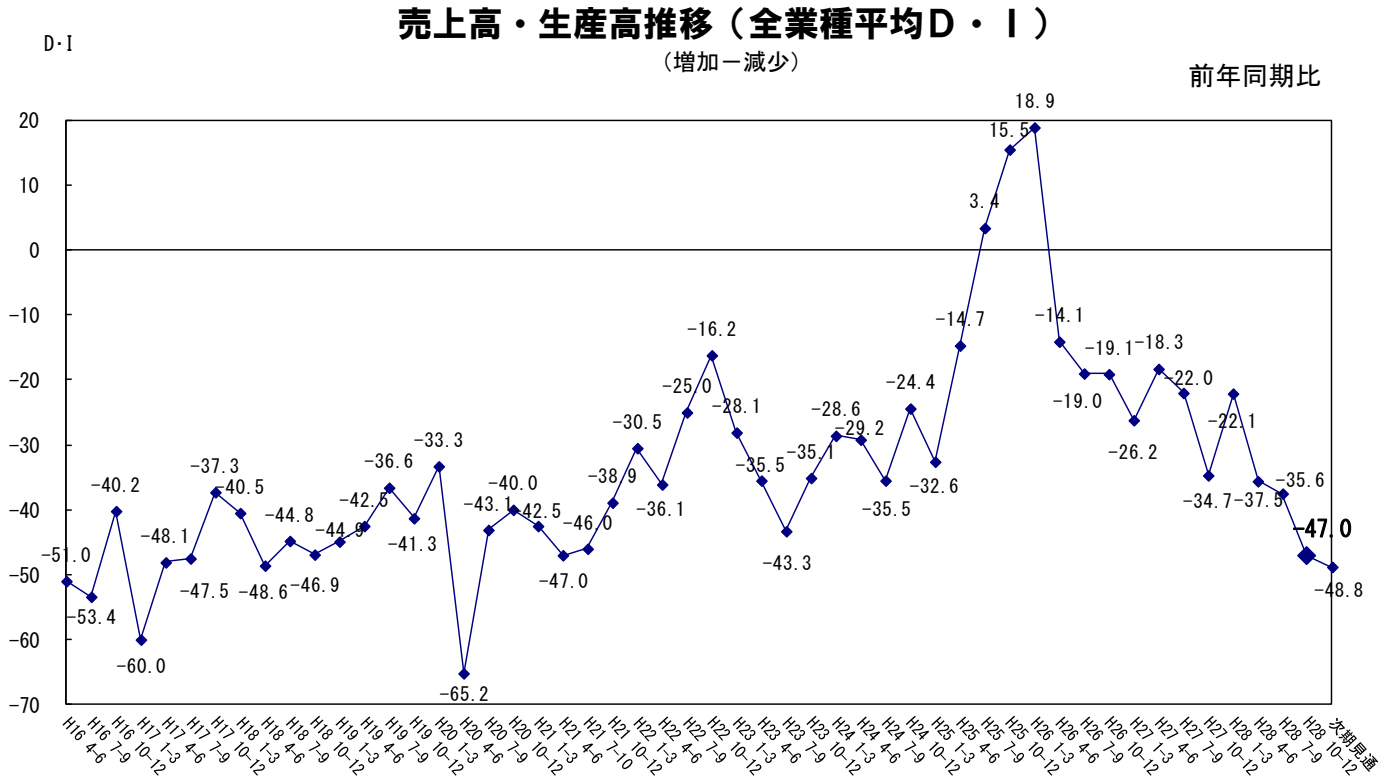
- ・人口減少（理容業）
- ・少子高齢化に伴う人口減少が需要の停滞に繋がっており、将来の不安材料となっている！（保険業）



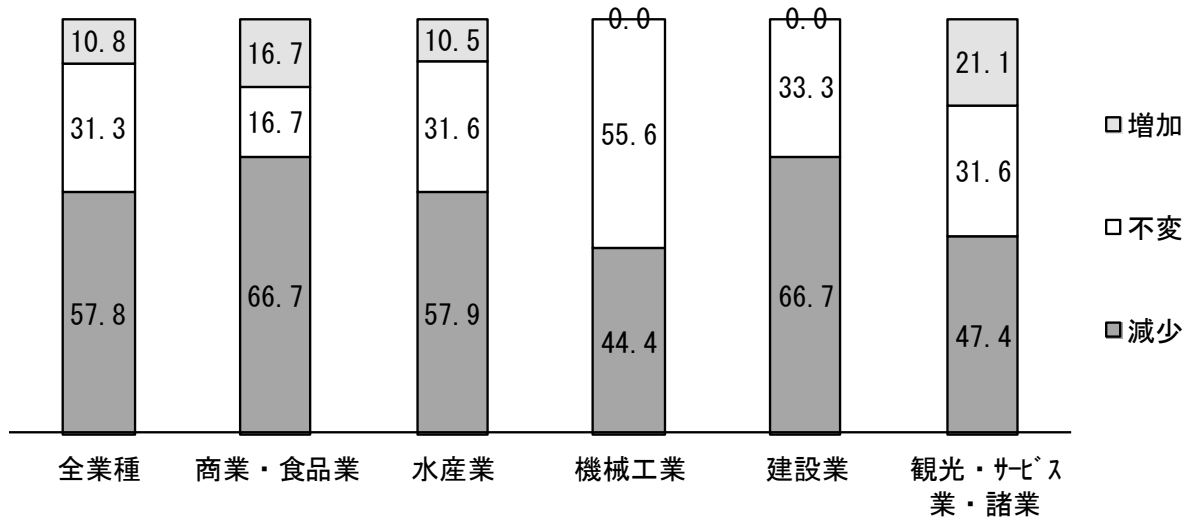
## 2. 今期の動向

### (1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成 27 年 10 月～12 月期の水準と比較した今期の売上高）



### 今期の売上高・生産高（前年同期比）

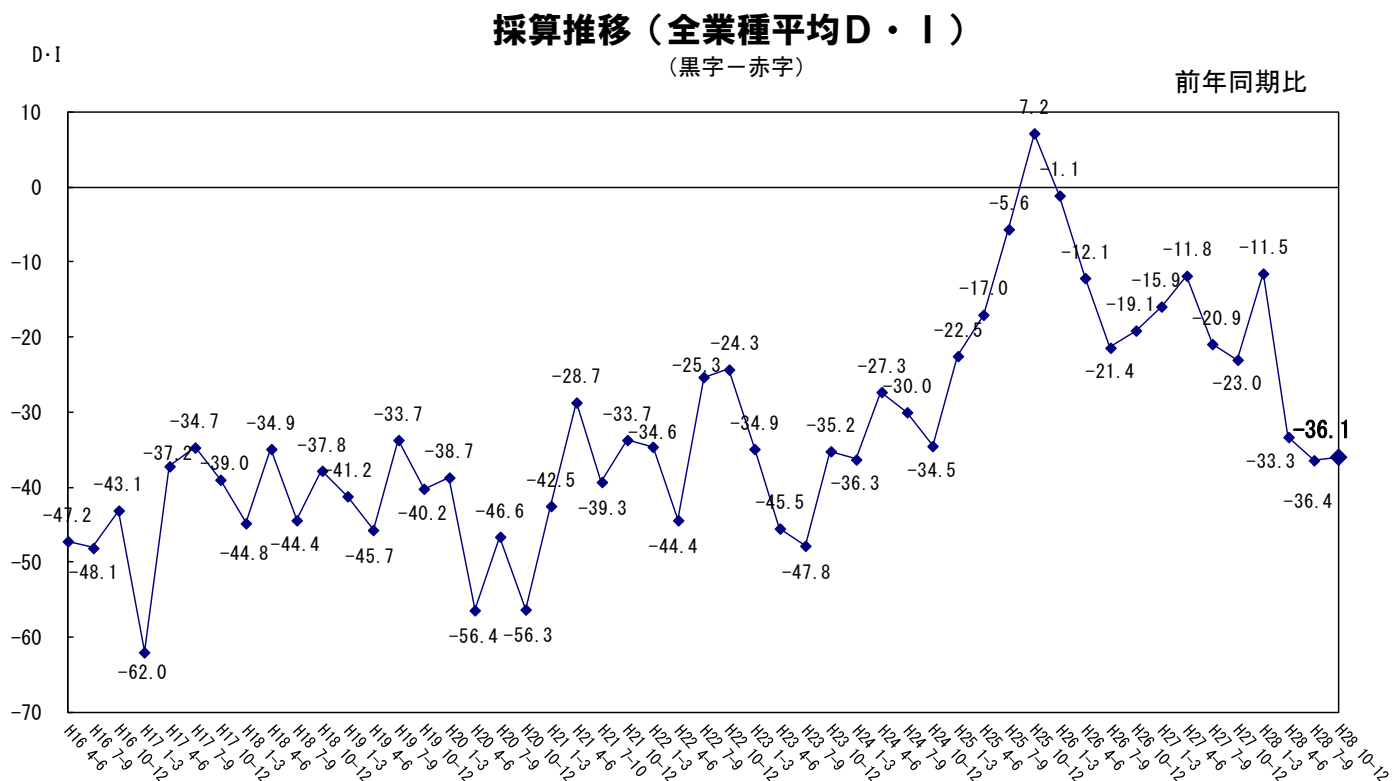


全業種平均で DI 値▲47.0〔前回調査時（平成 28 年 7～9 月期▲37.5）より 9.5 ポイント悪化〕  
水産業は改善しつつも大きなマイナス値。その他全て悪化。建設業の悪化幅は 43.2 ポイント。

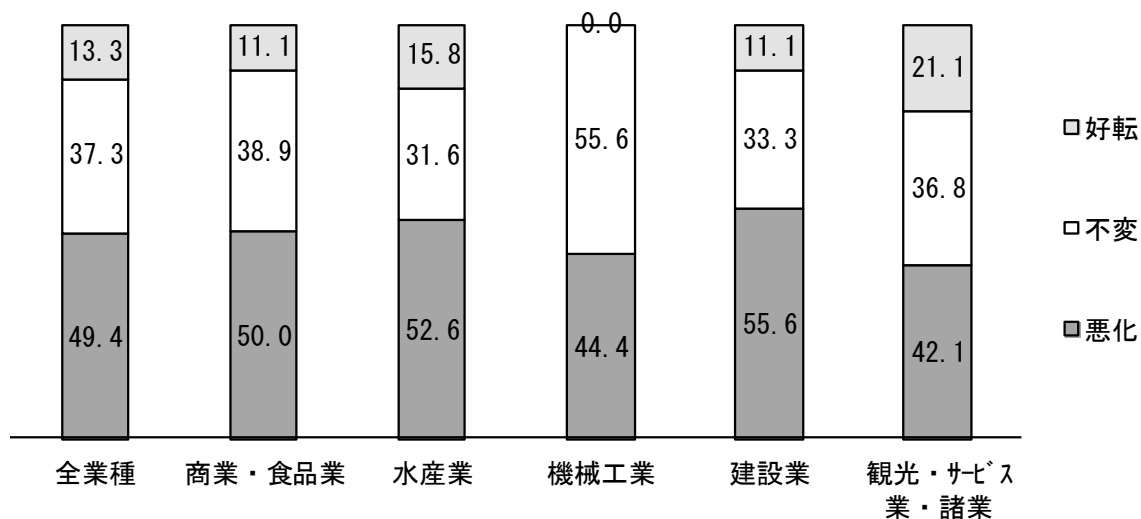
〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前年▲35.3→▲50.0〕、水産業〔前年▲60.0→▲47.4〕  
機械工業〔前年▲33.3→▲44.4〕、建設業〔前年▲23.5→▲66.7〕  
観光・サービス業・諸業〔前年▲21.4→▲26.3〕

## (2) 今期の採算

【前年同期比】（平成 27 年 10 月～12 月期の水準と比較した今期の採算水準）



### 今期の採算（前年同期比）



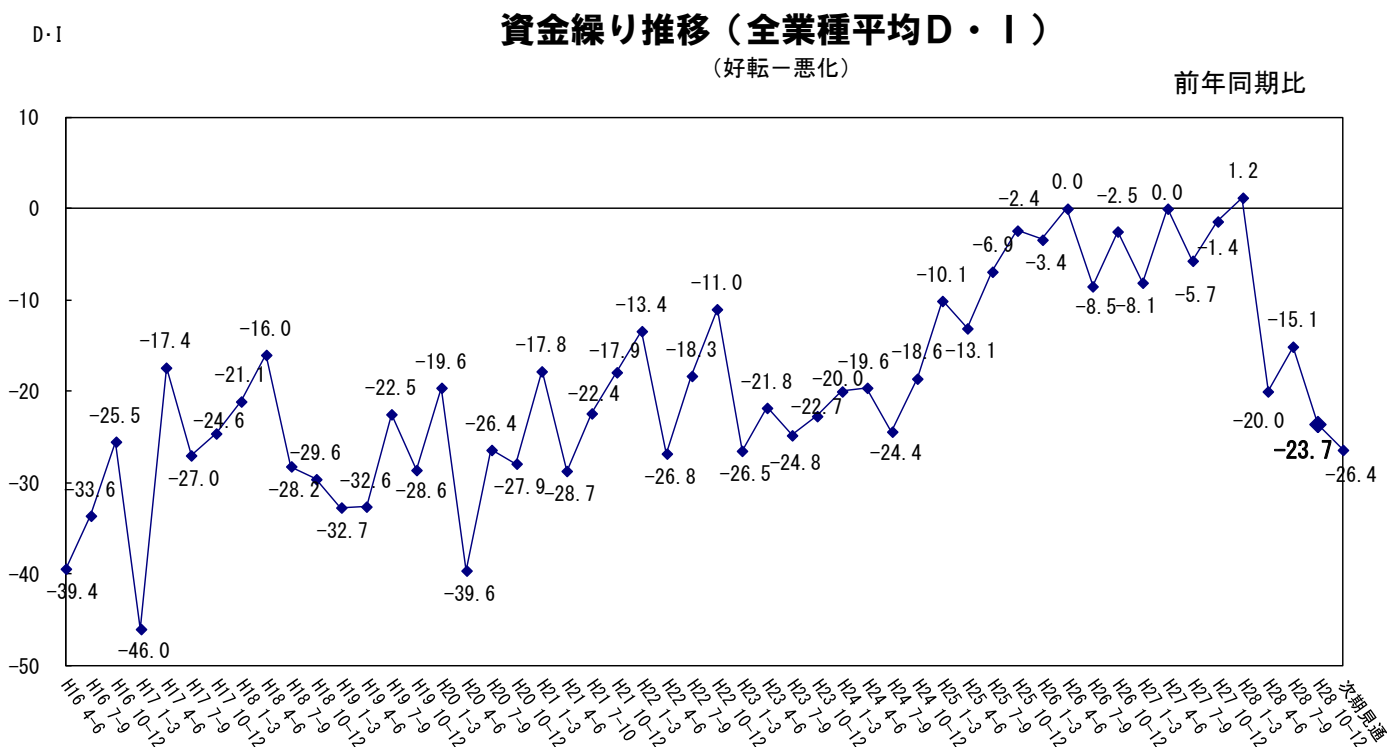
全業種平均で DI 値▲36.1 [前回調査時（平成 28 年 7～9 月期▲36.4）より 0.3 ポイント好転]  
水産業は改善。商業・食品業、建設業が大幅悪化。

[部会別 DI 値] 商業・食品業 [前年 11.8→▲38.9]、水産業 [前年▲71.4→▲36.8]  
機械工業 [前年▲25.0→▲44.4]、建設業 [前年▲17.6→▲44.4]  
観光・サービス業・諸業 [前年▲21.4→▲21.1]

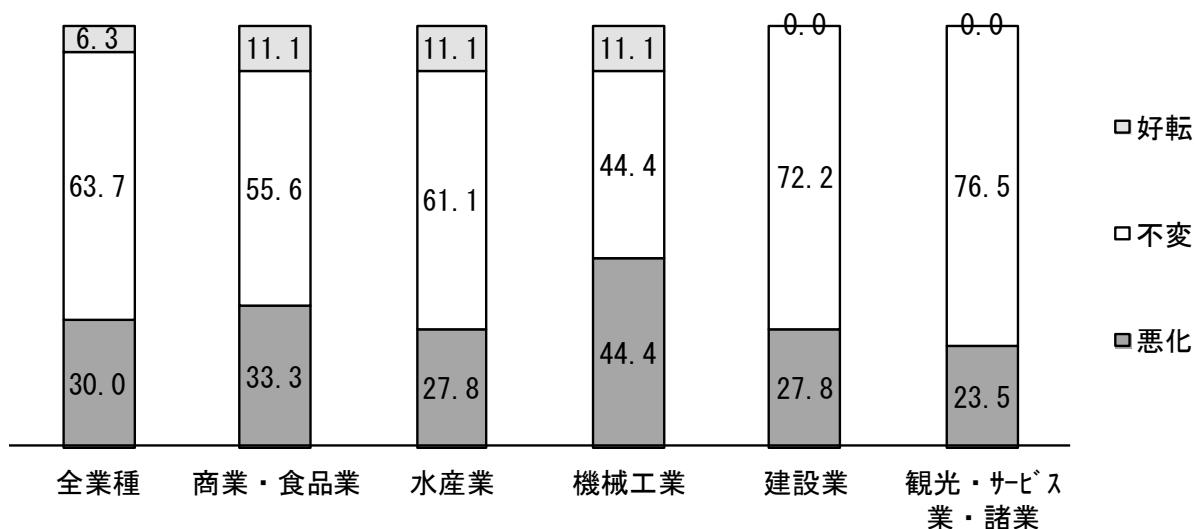


### (3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成 27 年 10 月～12 月期の水準と比較した今期の資金繰り）



#### 今期の資金繰り（前年同期比）



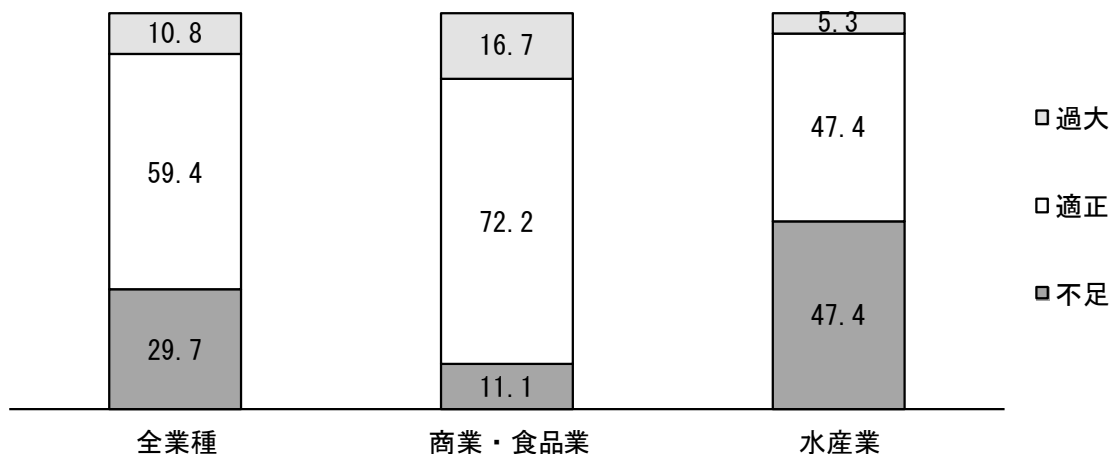
全業種平均で DI 値▲23.7〔前回調査時（平成 28 年 7～9 月期▲15.1）より 8.6 ポイント悪化〕  
水産業は好転。その他の業種は大きく悪化し、機械工業は 54.2 ポイントの大幅悪化。

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前年 5.9→▲22.2〕、水産業〔前年▲26.7→▲16.7〕  
機械工業〔前年 16.7→▲33.3〕、建設業〔前年 0.0→▲27.8〕  
観光・サービス業・諸業〔前年 0.0→▲23.5〕

#### (4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 27 年 10 月～12 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

#### 今期の在庫水準（前年同期比）



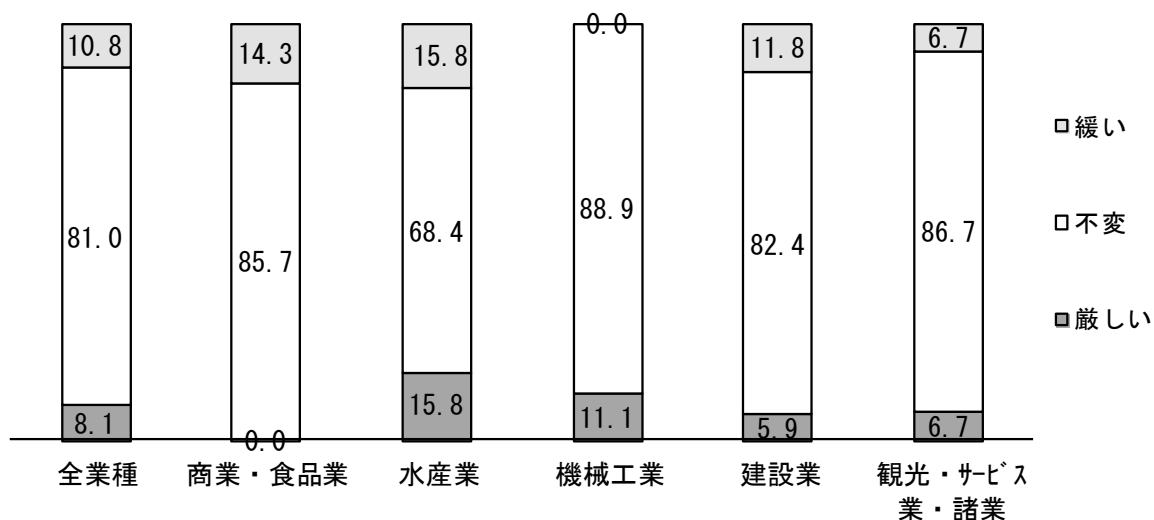
全業種平均で DI 値▲18.9〔前回調査時（平成 28 年 7～9 月期▲8.4）より 10.5 ポイント在庫不足〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前年 11.8→5.6〕、水産業〔前年▲53.3→▲42.1〕

#### (5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成 27 年 10 月～12 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

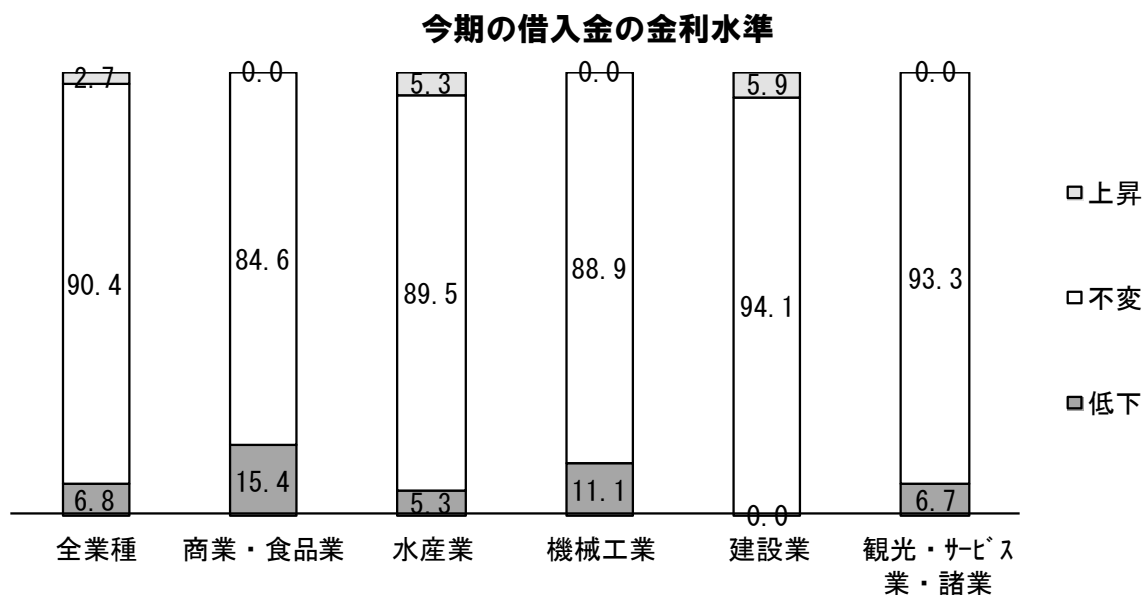
#### 今期の金融機関の貸出姿勢



全業種平均で 2.8 ポイント。商業食品業 14.3、水産業 0.0、機械工業▲11.1、建設業 5.9、観光・サービス業・諸業 0.0

## (6) 今期の借入金の金利水準

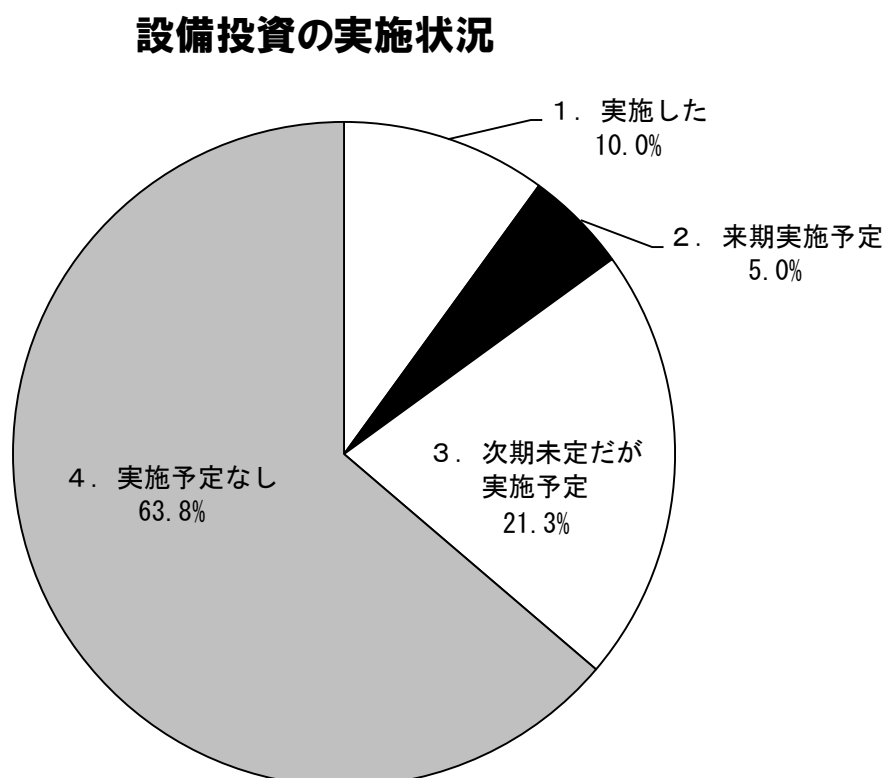
【前年同期比】（平成 27 年 10 月～12 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



全業種平均で▲4.1。商業食品業▲15.4、水産業 0.0、機械工業▲11.1、建設業 5.9、観光・サービス業・諸業▲6.7

## (7) 設備投資の実施状況

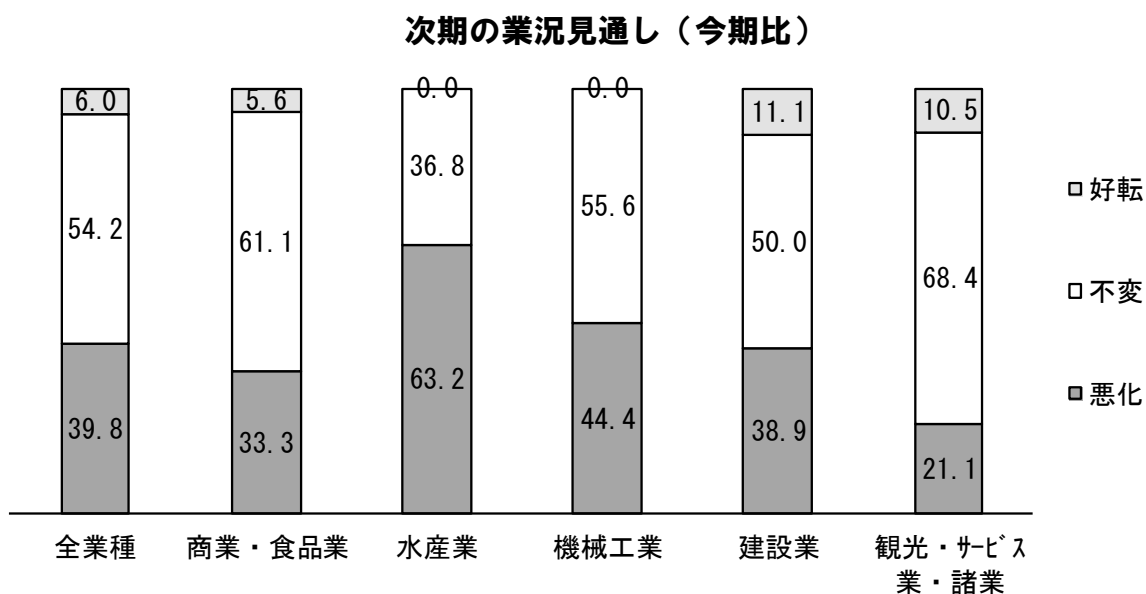
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



### 3. 来期の見通し

#### (1) 来期の業況

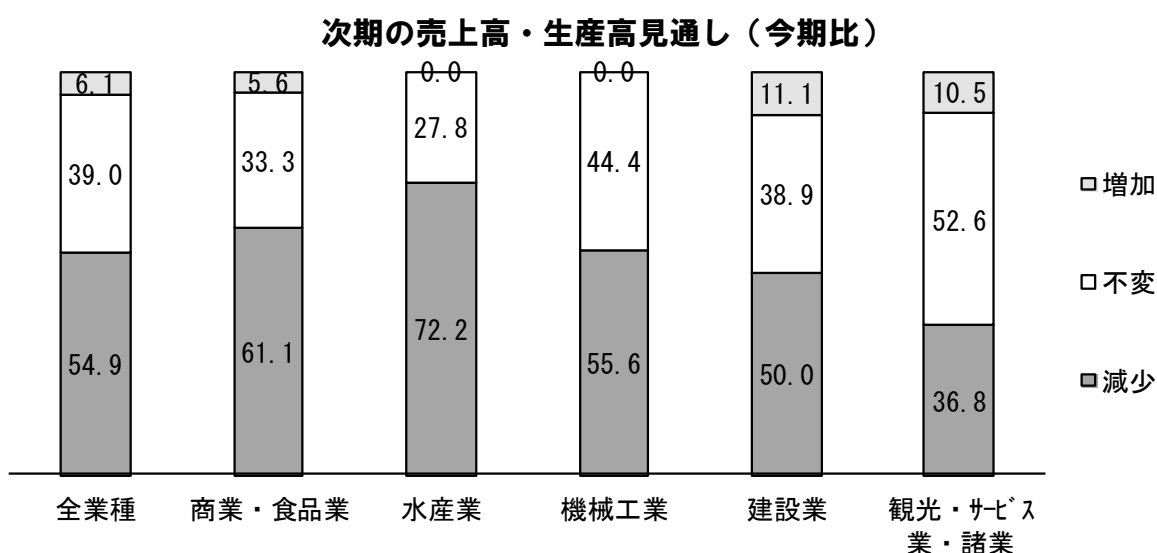
【今期比】（平成 28 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の業況見通し）



全業種平均 DI 値▲32.9 [今期の業況（前年同期比▲34.1）より 1.2 ポイント好転の見通し]

#### (2) 来期の売上高・生産高

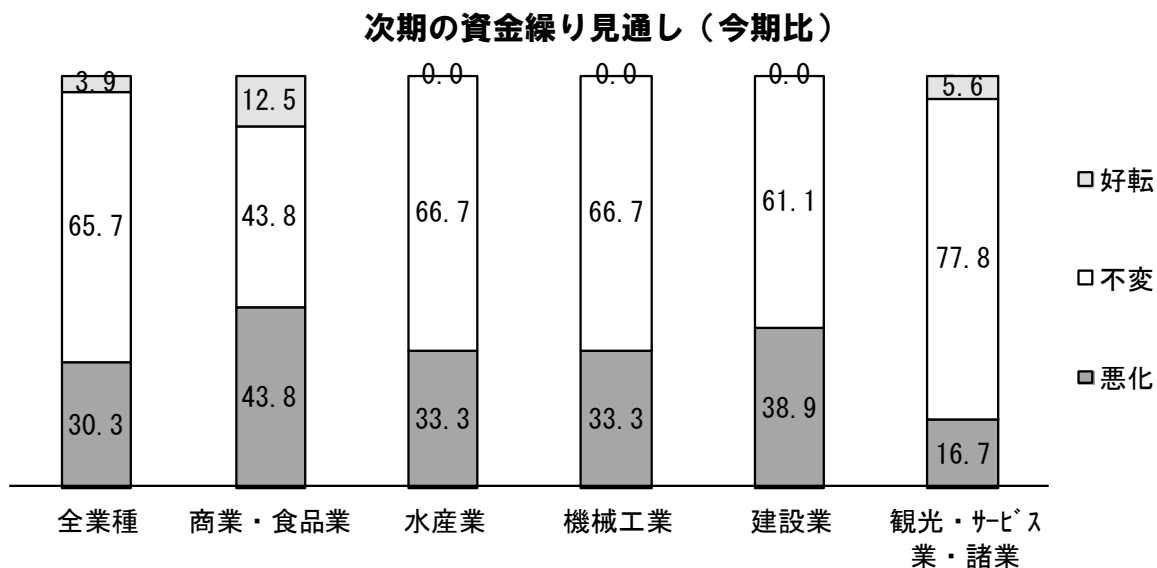
【今期比】（平成 28 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値▲48.8 [今期の売上高・生産高（前年同期比▲46.3）より 2.5 ポイント悪化の見通し]

### (3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 28 年 10 月～12 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値 ▲26.4 [今期の資金繰り（前年同期比▲24.1）より 2.3 ポイント悪化の見通し]

## Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス 業 ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	▲33.8	▲38.9	▲31.6	▲22.2	▲38.9	▲31.6
	来期見通し	▲33.8	▲27.8	▲63.2	▲44.4	▲27.8	▲10.5
売上・生産 D・I	今期実績	▲47.0	▲50.0	▲47.4	▲44.4	▲66.7	▲26.3
	来期見通し	▲48.8	▲55.6	▲72.2	▲55.6	▲38.9	▲26.3
在 庫 D・I	今期実績	▲18.9	5.6	▲42.1	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今期実績	▲36.1	▲38.9	▲36.8	▲44.4	▲44.4	▲21.1
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲23.7	▲22.2	▲16.7	▲33.3	▲27.8	▲23.5
	来期見通し	▲26.4	▲31.3	▲33.3	▲33.3	▲38.9	▲11.1
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	2.7	14.3	0.0	▲11.1	5.9	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲4.1	15.4	0.0	▲11.1	5.9	▲6.7
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。